

# 公団住宅のIT化 VDSL 説明会

KDDIのインターネット接続サービスが2003年2月頃開始されますが、その説明会が開催されます。

- 12月14日(土)12:00 - 15:00
- 12月15日(日)15:00 - 20:00
- 12月17日(火)18:00 - 20:00
- 12月19日(木)18:00 - 20:00
- 12月21日(土)12:00 - 17:00
- 12月22日(日)12:00 - 17:00
- 12月23日(祝)15:00 - 20:00

団地集会所で開催されます

## 王子五丁目団地

# 自治会会報

第223号 2002年12月12日

公団王子五丁目団地自治会

東京都北区王子5丁目2番

編集責任者・木元章喜

発行責任者・丸本秀昭

電話・FAX 3913-6723

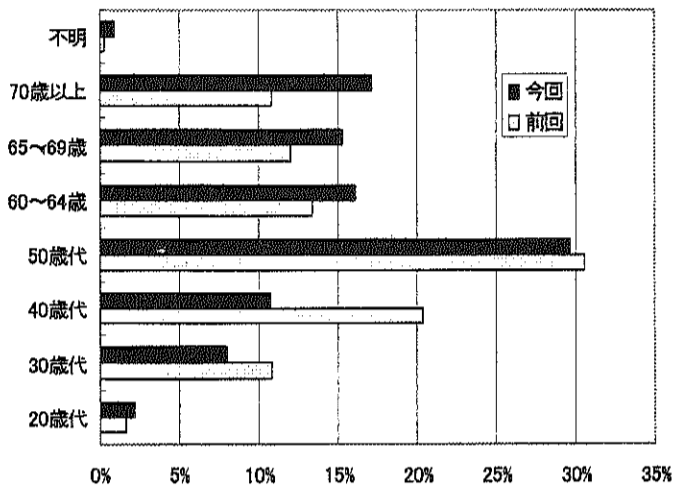
[開設時間]月～金(9:～12 13:～16)

http://homepage1.nifty.com/ougo/

## 居住者の高齢化すすむ

# 1世帯平均家族数は2.1名

### 世帯主の年齢



居住者のみなさんにご協力頂いた第6回住まいと暮らしのアンケートでは、「高齢化と、住まいへの不安が増大」の結果が明らかになりました。

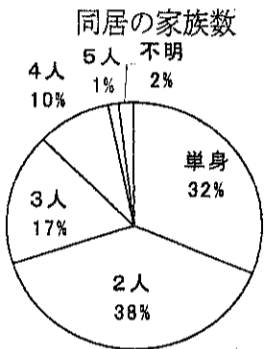
### 世帯主の半数が60歳以上に

世帯主の年齢では約半数の世帯が60歳以上という結果になりました。これは前回(1998年)と比べると約1割増えたこととなります。20歳代・30歳代・50歳代は極端な増減はありませんが、60歳代31%、70歳以上は17%なっています。それぞれの世代で居住年数を重ねた結果が反映されているものと考えられます。しかし、40歳代は10%もの減(前回は20%)に。近隣のマンションへの住み替え等も

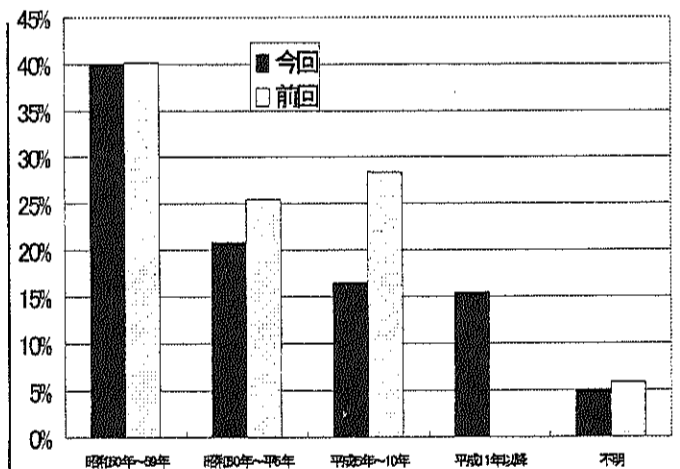
あるでしょうが、40歳代以下が20%あまりというのは全国的にみても低い結果です。

### 単身世帯が10ポイントアップ

同居の家族数では2人が最も多く、単身世帯がその次に続きました。前回の調査でもこの順位は変わりませんが、前回の調査に比べ単身世帯は全体の3割を超えました。単身者の年齢をみると60



### 入居した年



歳以上が5割以上でそのうち70歳以上の世帯も多数ありました。永く住んでいるうちに年を重ね、同居の方どちらかがお亡くなりになった結果として一人住まいになってしまった世帯が多くなってきているようですが、この傾向は今後も続くものと思われまます。高齢2人世帯、高齢1人世帯が多くなる中、収入の減少も大きな問題で、「このままでは住めなくなってしまう」という切実な声もアンケートという切実に書いて頂いたものもありました。公的な支援と共に、居住者間での支援体制など高齢者をバックアップ出来る体制づくりが必要になってきているようです。

下記入会申込書を「自治会事務所・役員宅」へ投函下さい。  
(FAX・E-mailでもOKです) 電話・FAX 3913-6723 E-mail QZV14710@nifty.ne.jp  
入会の手続き等についてはその後お知らせします。

## 自治会入会申込書

公団王子五丁目団地自治会に入会します。 会費徴収

号棟 \_\_\_\_\_ 号室 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_

世帯主氏名(フリガナ) \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

現在の家賃 \_\_\_\_\_ 円 (共益費除く) 家族氏名 \_\_\_\_\_

年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

### 金融機関自動振替

王子信用金庫東十条支店 郵便局  
第一勧業信用組合東十条支店 東日本銀行東十条支店

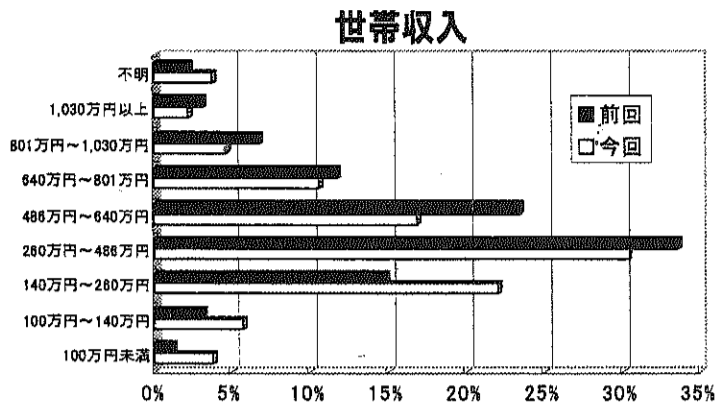
郵便局払込 集金 持参  
いずれかに○をお願いします。

入居年 \_\_\_\_\_ 昭和 \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_\_ 西暦 \_\_\_\_\_ 年

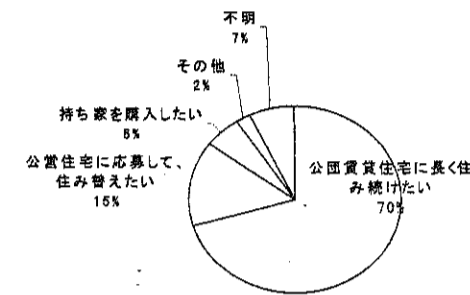
公団王子五丁目団地自治会 御中

# 公団住宅に住み続けたいが 高家賃、収入減が心配

70%が公団住宅に。公営住宅希望も増加



世帯収入の状況は長引く不況と高齢化の影響が全体的に減っているようです。



また収入を得る方法も、前は給料が中心が5割近くあったものが4割に、それと比例するかのようになっています。また、これも時代を反映しているのか「失業中」の方もいました。

## 北区議会でも意見書が採択されました

都市基盤整備公団住宅の家賃と居住の安定に関する意見書

政府は、昨年十二月に「特殊法人等整理合理化計画」を閣議決定し、都市基盤整備公団の廃止、独立行政法人化を決定した。さらに、国土交通省は都市基盤整備公団の組織の見直しの時期を、改革を推進するために一年前倒しして、独立行政法人に移行させる方針を明らかにした。現在、来年の通常国会に関係法案を提出すると側聞している。

一方、都市基盤整備公団では、こうした国の動きがある中で、継続家賃については三年毎に改定するとの方針に沿い、平成十五年四月の見直しを予定している。

しかし、公団住宅が都市基盤整備公団に移行する際、居住の安定を図るため、衆参両院の所管委員会において「賃貸住宅の家賃の設定にあたっては、居住者にとって過大な負担とならないよう十分な配慮に努めること。」との附帯決議をしている。また、公団法では、「賃貸住宅の家賃の額を変更しようとする場合においては、近傍同種の住宅の家賃の額、変更前の家賃の額、経済事情の変動等を総合的に勘案して定めなければならない。」としている。

折しも、日本経済は長引く不況に見舞われ、景気回復は一向にその兆しさえ見えず、区民生活にも大きな影響を与えている。

本区内には、公団賃貸住宅が一万三千戸以上あり、多くの区民が居住している。公団居住者は、高齢化、長引く不況によるリストラや所得水準の低下等の状況にあり、家賃値上げは居住者にとって過大な負担となるばかりか、生活不安をもたらすことも懸念される。住まいは基礎的かつ重要な生活の場であり、居住者が生活不安を抱かぬよう空き家の解消も含め、万全の措置を講ずることが不可欠である。

よって、本区議会は政府及び都市基盤整備公団に対し、左記事項を求めるものである。

記

- 一、来年四月に予定されている家賃改定に際し、継続家賃の値上げは行わないこと。
- 二、低所得高齢者等への家賃減免措置を拡充するなどの居住支援措置をとること。
- 三、都市基盤整備公団の独立行政法人化への移行にあたっては、高齢化が著しい公団住宅居住者の居住の安定を図るよう万全の措置を講ずること。

右、地方自治法第九十九条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成十四年十二月

東京都北区議会議長 福田 伸樹

内閣総理大臣 小泉 純一郎 殿  
国土交通大臣 原 千景 殿  
都市基盤整備公団総裁 伴 襄 殿

## 家賃値上げは反対! 収入に見合った家賃制度に

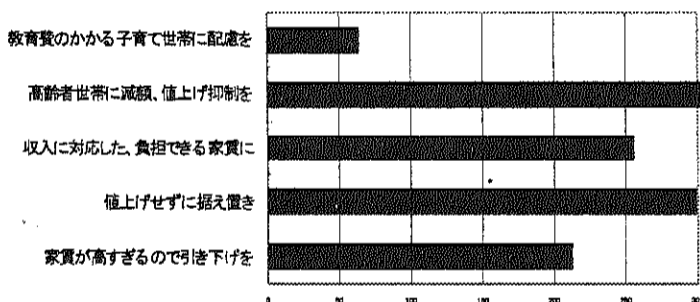
今後の住まいの問題では、「引き続き公団住宅に住み続けたい」と思っている世帯が7割を超えています。これは前回の8割近くよりは減少しましたが、この減少分は家賃が安い公営住宅に住み替えたいと願っている世帯が増加したためと思われま。

公団は来年3月に家賃いっせいで値上げを計画していますが、これに対する不安が多数寄せられました。家賃については子育て世帯への支援や年金生活者への配慮など、一律の家賃制度ではなくライフスタイルの変化にともなう家賃の考え方をしたいという声

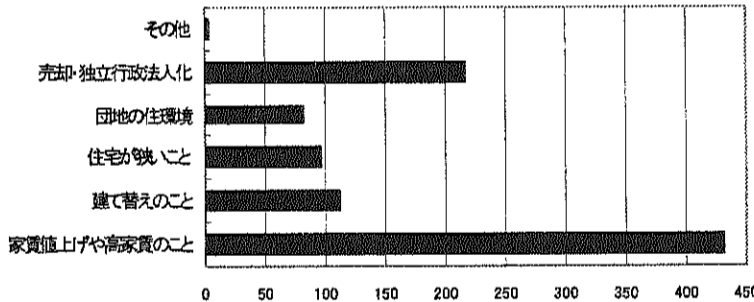
が圧倒的でした。王子五丁目団地は管理開始から26年が経過しました。そのとき赤ちゃんだった子どもも団地を巣立ち家庭を築き、ふるさとの王子五丁目団地を子どもを連れて時々訪れる時代になりました。

居住者の高齢化が進む事はさけて通れない問題です。高齢者への支援と共に誰もが安心して住み続けられる団地にするため居住者全員の知恵と力を出しましょう。

家賃に対する考え方 (複数回答)



住み続けるうえで不安なこと (複数回答)



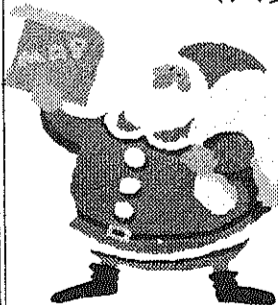
## 介護保険学習会

12月14日(土)  
午後1時30分から3時  
団地集会所

講師は北区の介護保険課長にお願いしました  
参加費は無料です

## 子どもクリスマス会

12月14日(土)午後6時30分より  
団地集会所  
参加費：300円  
(会員世帯以外は500円)



チケットは自治会事務所  
で販売しています